

「ありがとう」掲示板

「心ひとつに 世界に誇る 南相馬市の再興を」目指して！

東日本大震災から3年目を迎え、全国からのご支援により、少しずつではありますが着実に復旧復興に向けて進んでいます。今年度は国から9名、富山県南砺市及び新潟県小千谷市から各1名の応援派遣をいただいています。支援職員の皆さまのご尽力により、津波被災農地・施設の復旧工事が進むとともに、避難指示解除準備区域内の災害査定を受検することができました。

復興への道のりはまだまだ続きますが、今後も復旧工事を始め、様々な支援制度を活用した農業の再生など、支援職員の方々と一丸となり、緑豊かな農村の再生に向けて進んでまいります。これまで支援をいただいた国、県、市の職員の方々には、常に最善を尽くしていただき、心より感謝申し上げます。



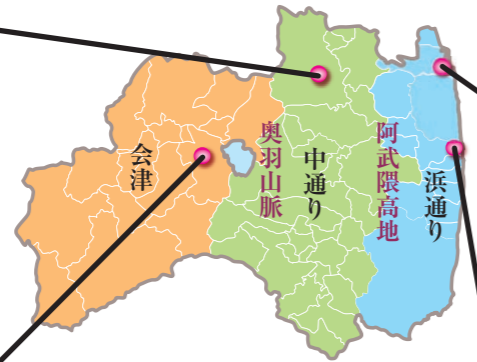
大森さん(中四局)、松永さん(中四局)、竹林さん(南砺市)、佐藤、龍、発田、熊耳、涌井さん(小千谷市)、藤田、伊賀上さん(中四局)、中村

南相馬市経済部農林水産課整備係
係長 佐藤 寿

「ごちそう」ふくしま ～福耕支援隊のおススメ～



円盤餃子 (福島市)



ほっきめし (相馬市)



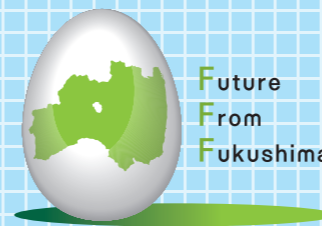
カレー焼きそば (会津若松市)



B-1チャンピオン なみえ焼きそば

福島の「今」をお伝えする「ふくしまファンクラブ」メール会員を募集中です!!
詳しくは、www.pref.fukushima.jp/fui/ をご覧ください。

「福興レター」は、全国農村振興技術連盟会員の皆様や台湾農田水利会連合会からいただいた義援金により作成しております。多大なるご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。



ふくしまからはじめよう。

ふくしまから ありがとう 福興レター 第3号 平成26年1月

「今日の努力は 笑顔あふれる農空間 復興のために」

謹んで新年のご挨拶申し上げます。
東日本大震災の発生から、間もなく3年が過ぎようとしています。
この間、全国の皆さんからの心こもった数えきれないご支援に、福島県民は大いに助けられ、励まされました。改めて、心より感謝申し上げます。

現在、福耕支援隊の皆さんとともに全力で農地・農業用施設の復旧に取り組んでおりますが、その成果として、営農が再開できた一部の津波被災農地でも本県オリジナル米「天のつづ」が豊作となりました。この希望の実りである「天のつづ」をいただき、「笑顔あふれる農空間 復興」に向けた決意を新たにいたしました。

今後は、津波被災地でのほ場整備が本格化します。本県農業の再生に向けた道のりは長くても、あきらめず、最善を尽くし、それを積み重ね、必ず復興を成し遂げる所存です。農業生産の基盤であり、農家の生活基盤でもある農地、農業用施設の復旧に「心」をこめて取り組ましますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

福島県農村振興技術連盟委員長 後藤 庸貴
(福島県農林水産部次長 (農村整備担当))



進む! 進める!! 農地・農業用施設の復旧



営農再開! 岩崎地区 (新地町)



試験栽培を開始 (南相馬市鹿島区)



復旧した湖岸堤防 和田地区 (相馬市)



まもなく完了 今泉排水機場 (新地町)



工事が進む 北海老海岸 (南相馬市)



動きだしたほ場整備 作田前地区 (新地町)

●復旧の状況などは、福島県農村計画課のホームページに掲載の「農空間」でもご覧いただけます。

福島県 福耕支援隊

福島県では、農林水産省及び全国の道県から派遣いただく農業土木技術者の皆さんを『福耕支援隊』と呼んでいます。

これまでご支援いただいた隊員の皆さん、お元気ですか？

今年度も福耕支援隊は、未曾有の災害からの復旧・復興に立ち向かう福島へ勇気と希望を与え、福島県人になりきって懸命に業務に取り組んでいただいております。

支援の輪により復旧へ邁進中！！

相双農林事務所では、県外派遣職員も含め100名近い体制で東日本大震災や原発事故からの早期の復旧・復興に職員一丸となって取り組んでおります。

今年度もこれまで全国12道県から延べ51名の支援派遣をいただき執行体制を確保できているのも、全国の皆様のご理解とご協力のお蔭と感謝申し上げます。

管内では、これまで沿岸部の排水対策を最優先に、排水機場や海岸保全施設などの復旧として、施設関係では査定済みの約89%の箇所です工事に着手し、排水能力については11月末時点で約80%まで回復しております。

排水対策に引き続き、海岸防災林などの新たな土地利用と調整しながら避難指示区域以外の農地復旧に取り組んでおり、現在、採択済み7地区のうち3地区の工事に着手し、残り4地区についても年度内の工事着手へ向け土地改良法の手続きや設計業務などを進めているところです。

まだまだ避難指示区域内の復旧・復興は見通しをつけられない状況ですが、今後も可能な区域から営農再開に向けて、農業生産基盤の復旧を進め、活力ある相双地域が一日も早く再生できるよう取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続き全国の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

相双農林事務所
農村整備部長 佐川 積成

H25年度 福耕支援隊員数 (H25.12.1現在)

管内	派遣先	人数(名)	派遣元
県中	須賀川市	8	農林水産省(4局) 関東農政局、東海農政局 中国四国農政局、沖縄総合事務局
相双	相双農林事務所(県)	51	12道県 北海道、青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、山梨、滋賀、山口、愛媛、沖縄、大分
	相馬市	23	農林水産省(1局) 関東農政局
	南相馬市	70	農林水産省(3局) 北海道開発局、北陸農政局、中国四国農政局
	広野町	19	農林水産省(1局) 近畿農政局
	楳葉町	16	農林水産省(2局) 近畿農政局、東海農政局
	浪江町	3	農林水産省(2局) 東海農政局
	新地町	31	農林水産省(1局) 北海道開発局
計		221	農林水産省(7局)、12道県

※1 派遣人数は、実人数(人)
※2 延べ人数：8,279人(実人数×勤務日数)

相双農林事務所の執行状況 (H25.12.1現在)

(事業費単位：百万円)

区分	種別	全体		発注済み			完了			
		箇所数	事業費	箇所数	着手率	事業費	進捗率	箇所数	事業費	進捗率
県営	海岸保全施設	30	22,358	28	93.3%	14,390	64.4%	0	2,039	9.1%
	施設(排水機場、ダム・ため池)	43	14,755	37	86.0%	11,115	75.3%	3	6,872	46.6%
	農地(関連、交付金含む)	7	31,720	3	42.9%	1,446	4.6%		38	0.1%
	小計	80	68,833	68	85.0%	26,951	39.2%	3	8,949	13.0%
団体営	農地(除塩含む)	268	16,801	161	60.1%	2,446	14.6%	51	139	0.8%
	施設(ため池、揚水機場等)	412	4,060	242	58.7%	1,962	48.3%	113	668	16.5%
	農業集落排水	10	1,110	10	100.0%	1,110	100.0%	9	1,070	96.4%
	小計	690	21,971	413	59.9%	5,518	25.1%	173	1,877	8.5%
	合計	770	90,804	481	62.5%	32,469	35.8%	176	10,826	11.9%

福耕支援隊 滋賀県チームにインタビュー(相双農林事務所に1年間派遣)

海岸災害復旧担当の古野義尚さん、塩谷博昭さん、団体営復旧指導担当の中尾重則さんにお話を聞きました。なお、塩谷さんは、アフター5の復興担当も兼務です。



塩谷さん、中尾さん、古野さん

Q1. 福島県のお気に入りやお勧めは？

- A1. ○そばがとっても美味しい。(古野)
○果物もいろんな品があってどれもおいしい。温泉も最高！(塩谷)
○なんといっても、相馬野馬追は一千余年の歴史を感じ、約500騎の騎馬武者の行列・甲冑競馬・神旗争奪戦は必見です。(中尾)

Q2. 福島県に来てみてわかったこと、滋賀県を離れて気づいたことは？

- A2. ○原発事故による影響が想像以上に大きく、また地震や津波の恐ろしさを改めて感じさせられた。滋賀県も原発銀座に近接しており、「もしも」のことをいろいろと考えさせられた。(中尾)

Q3. メッセージ

- A3. ○一日も早く、震災前の生活が取り戻されることを願っています。今後も様々な形で支援していきたいと考えています。(中尾)
○復興には時間がかかりますが、自身の健康が一番大切です。(古野)
○復興事業が一段落したら、ぜひ福島で福耕支援隊の仲間と同窓会したいです。福島のおいしいお酒とともに！(塩谷)



迫力の神旗争奪戦



満開の三春滝桜にて



TVに出ました。(業務で！)

福耕支援隊フォトレポート ～プライベートでも復興支援～

